

JAVA 実行環境 (JRE) の脆弱性に対するご利用 PC の対応について

現在、電子入札コアシステムに接続するためのソフトと併せて Sun Microsystems 社のソフトウェア Java 2 Runtime Environment (以下「JRE」と記載) のバージョン 1.3.1_06 を配布しているところですが、このバージョンのソフトにセキュリティホールがあることが報告されています。

本 JRE を常に有効にしている場合、悪意のある WEB サイトを閲覧した際に、JRE のセキュリティホールを攻撃される可能性があります。

つきましては、お客様ご利用 PC でのこのような被害を回避するため、電子入札を実施される場合以外は、以下の対処方法の実施をお願いします。

○JAVA プラグインの無効化

- ① 「スタート」⇒「コントロールパネル」⇒「Java Plug-in 1.3.1_06」を開く。
- ② 「基本」タブの「Java Plug-in の有効化」のチェックを外す。
- ③ 「適用」ボタンをクリックする。

バージョン 1.3.1_06 の JRE については、省庁／地方自治体で導入されている電子入札コアシステムでの対応状況を勘案しながら、当分の間配布していく予定ですが、現在、Internet Explorer 7、Windows Vista 対応に向けてソフトを開発中です。新しいソフトをリリースする際は、本 JRE も最新版のものに対応していく予定ですので、何卒ご理解いただきますよう、よろしく申し上げます。

【お問合せ先】

株式会社 NTT アプリエ
電子認証サービス事業部
ヘルプデスク
TEL 06-6348-1060
FAX 06-6348-1016
e-Mail ninshou@e-probatio.com